

令和7年度 函館市立北中学校 グランドデザイン

< 学校教育目標 >

向上 自らめあてをもち ねばり強く学習する生徒
協調 豊かな心をもち みんなのために尽くす生徒
健康 健康や安全につとめ 進んで運動する生徒

< 重点教育目標 > 夢や目標をもち 自らの可能性を最大限に引き出す生徒の育成

めざす学校像

- ・学びを保障し一人一人の可能性を伸ばす学校
- ・家庭・地域と協働し将来を担う子どもを育む学校
- ・変化を前向きに受け止め進化し続ける学校

めざす生徒像

- ・自らを律し高め続ける生徒
- ・不安や悩みを解決し多様な他者と協働する生徒
- ・心身を鍛え 健康な生活を送る生徒

めざす教師像

- ・確かな指導力で子どもの学びを支援する教師
- ・子どもの痛みに寄り添い共感する教師
- ・チームとして組織的に協働する教師

< 経 営 方 針 >

質の高い学びの提供

- 指導計画に基づいた個別最適な学びと協働的な学びの展開
→「わかる」「できる」という実感をもてる場面の設定
- 指導と評価の一体化を重視した授業(過程の評価)
- 振り返りを軸とした一単位時間の構築を目指す授業改善
- 様々な調査や評価に基づく指導効果の検証と工夫・改善
- 総合的な学習の時間を軸とした本物にふれる学びの充実
- 家庭学習習慣と望ましい生活習慣の確立を目指した記録ノートを活用
- ICTを活用した学校と家庭をシームレスにつなぐ学習支援

安心安全な場の提供

- 相手の立場に立って考え、行動できる共感的人間関係の育成
- 生徒の不安や悩みに関わり添う機会や場の設定
- 発達段階や特別支援の視点に基づく生徒理解と個に応じた適切な支援
- 道徳推進教師を中心とした全教職員による道徳教育
- いじめ・不登校・ネットトラブル・児童虐待等の今日的な課題への対応
- 有事の際にスピード感のある組織的対応と安全教育

地域とともに歩む学校

- 地域学校協働本部を中心とした地域との連携による“本物にふれる学び”の構築
- 地域を知り、考える探究型の学習の実施
- 小中連携による教育目標・教育課程の共有化、小中合同での学校運営協議会の実施による“地域の学校”の確立
- 授業参観・懇談・HP等を活用した地域に開かれた学校の実現
- 地域・関係機関との積極的な連携

生徒を支え力量を高める教職員

- 学校の課題に取り組み、解決に向けた方向性が学べる校内研修の充実
- 最新の教育情報の収集・還流を視野に入れた計画的な校外研修への参加
- 多様な知識や経験を持つ外部人材との連携協力
- 業務改善への不断の取組（部活動を含めた在校時間の縮減・校務の効率化）
- ライフサイクルを念頭に置いた個々の教職員のステップアップ